



球磨郡公立多良木病院企業団



基本理念

南天

地域中核病院として質の高い包括的医療を提供することにより、住民の皆様に信頼される病院を目指します。

基本方針

- ・地域住民の健康増進
- ・患者中心の納得診療
- ・地域に開かれた病院
- ・へき地医療の充実
- ・24時間救急体制
- ・健全経営

患者さんの権利

- ・患者さんは皆平等に安全で最善の医療を受ける権利があります。
- ・患者さんは医療機関を自由に選べる権利があります。
- ・患者さんは受ける医療を自ら決定する権利があります。
- ・患者さんは自らに関する情報を知る権利があります。
- ・患者さんはプライバシーが護られ個人の尊厳が保たれる権利があります。

看護理念

私たちは看護師としての責任を自覚し、患者さん中心の看護を提供します。

1. 患者さんの安全・安楽に努め、優しさと思いやりのある看護を提供します。
2. 患者さんご家族の権利を尊重した看護を提供します。
3. 看護の質の向上を目指し、自己研鑽に努めます。

1月

新年のご挨拶

球磨郡公立多良木病院企業団 企業長大島 茂樹



皆さん明けましておめでとう
ございます。つつがなく新年を
迎えられたこととお喜び申し上
げます。

昨年は病院にとって激動の年
でした。救急体制の制限や病床
の一部休床など様々なことがあ
りました。診療報酬改定に伴う
病床の再編、機能評価受審、組
織改編、医療介護総合確保推
進法への対応などさまざまな事
に職員一丸となって取り組ん
できました。

今年も引き続き将来を見据え
ながら、直面する問題に向き合
っていく所存です。

今年の基本運営方針は『地域
住民から・連携機関から・そし
て職場として選ばれる病院づく
り、経営基盤の安定化』とし、
仕事始めの年頭のあいさつで行

動計画を提示しました。

医師の地域偏在による医師不
足は、日本中の郡部の病院に共
通の悩みです。また人口減少に
より個々の病院がそれぞれで機
能を維持していくことが非効率
的となり、機能の集約化、分業
と連携を余儀なくされていくと
考えています。二次医療圏の見
直しも議論されていると聞いて
います。ただ人吉球磨医療圏は
広く、熊本県のみではなく、宮
崎・鹿児島との県境を越えての
患者さんの受診もあります。当
院の抱える一次医療圏だけでも
広い面積を有しており、急性期
医療の機能は維持しなければな
りません。そういった意味で
今後求められるのは、多岐に
わたる疾患を広くそして深く
診る事が出来る総合診療医です。

今年は、総合診療科を新設し
ます。予防から急性期・回復期・
在宅医療までを継続してみるこ
とができる強みを生かして、総
合診療専門医の研修施設として
の体制作りを行います。地域医
療のやりがいをも多くの先生方に
経験してもらい、できれば職場
として選んでもらえるような病
院を目指していきます。

次に病床再編を挙げたいと思
います。地域の方々の様々な
ニーズを満たすためには急性期・
亜急性期・回復期の機能を併せ
持つ地域包括ケア病床の活用が
重要なカギとなります。今年は
地域包括ケア病床の増床を行
います。

そのほかに、患者さんの満足度
向上のための取り組みを掲げて

います。質の高い医療の提供は
当然のことです。それに加えて、
安心感・満足感を覚えていただ
けるような心配りを意識して診
療を提供したいと思っています。

また、職員の満足度も向上す
るような職場づくり、病院の魅
力を広く発信するようなPR活
動、支出削減への取り組みなど
六つの課題を提示しました。

これに基づき、各部署ごとに
行動計画を作成してもらい、目
標値を設定して取り組んでもら
います。

公立多良木病院は今逆境かも
知れませんが、生まれ変わる
チャンスととらえて前向きに進
んでいきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申
し上げます。



開設者協議会会長挨拶

あさぎり町長 愛甲 一典



新年あけましておめでとうござ
います。

皆様にとりましてこの一年が良
い年となります様、心よりお祈り
申しあげます。

現在、地方の公立病院は様々な
課題を抱えながら、地域医療の維
持につとめております。公立多良
木病院も昨年四月より赴任頂いた
大島院長の下で、職員全てが、「職
場は明るく職務は誠実に！」を掲
げ、患者さんをはじめ来院される
全ての皆様が、安心して気持ちよ
く治療を受けられ、信頼される病
院を目指して日々活動しており、
昨年は、三年ぶりに多びす祭りの
お神輿パレード参加も復活し、大
島院長自ら参加し盛り上げて頂き
ました。また、病院職員組合にお
いても地域に少しでもお役に立ち
たいと、各町村を回って清掃や美
化活動を行っているところです。

上球磨地域の拠点病院として、

期待と信頼に応える事が出来る病
院を目指し、病院スタッフ全員で
取り組んで行きますので、今年も
宜しくお願い致します。

今、国においては医療や介護
分野の社会保障費の膨張が続き、
二〇一二年度に医療機関に支払わ
れた国民医療費は約三九兆円で、
年々過去最高と増え続けておりま
す。更なる高齢化の進展が予測さ
れる事から、国は別々に取り組ん
でいる予防、医療・介護・生活支
援を、医療と介護を統合した地域
包括ケアに重点を移す様です。

現在私は、熊本県町村会代表と
して医療対策協議会委員と地域医
療支援機構評議員を任命され、県
全体としての医療政策を検討する
場に参加しており、公立多良木病
院の健全運営に加え、球磨・人吉
の医療・介護連携の在り方等も検
討課題となつてきております。

この様な中で先ずは足下である

公立多良木病院の健全な経営を如
何に実現するかということを常に
考えています。現在の最大の課題

は医師の不足です。この一年大島
院長はじめ医師の方々、私達町村
長も大学病院や民間病院の医師に
対して、当病院へ来て頂けるよう
に様々な活動を展開してまいりま
したが、医師の確保は予想以上に
厳しいものと実感しているのが実
情です。

以前は大学病院を卒業したらそ
の教授の下で、一定期間治療の研
修を行うインターン制度があり、
大学の医局からこのインターンの
医師を地方の病院へ派遣が可能で
した。しかし、平成十六年の改革
により、大学を卒業した後は自分
の意志で研修先の病院を選択でき
るようになり、都市部への希望が
増え大学の医局に残る研修生が少
なくなっています。したがって、

大学の医局としても派遣したくて

も派遣できないという現状から、
地方への医師不足が深刻となりま
した。大学の医学部に地方枠が設
定され、この増員された医学生が
卒業し医師として病院勤務が始ま
るのが平成二十九年で、これによ
る医師の配置を期待しております
が、問題はそこまでの二年間をど
う対応するかです。

現在は、引き続き医師招へいに
力を入れながら、一方では公立多
良木病院に医師が赴任された時に
気持ちよく働いてもらえる、環境
づくりを進めているところです。

先般、熊本県の公立病院で組織
する、へき地医療自治体病院開設
者協議会主催の講演会に参加しま
した。先ほど述べたとおり医師が
都会に偏在する中で、どの様にし
て地方の病院に来て頂けるか。そ
れは地域の住民が若い先生達を如
何に受け入れる事が出来るかどう
かが勝負ということでした。時間
はかかっても医師に継続して来て
頂ける環境づくりを、公立多良木
病院を構成する四町村が一致団結
し、取り組んでいきたいと決意し
ているところです。

病院機能評価認定されました 3rd G Ver1.0

病院機能評価とは

医療を見つめる第三者の目。それが病院機能評価です。

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者（サーベイヤー）が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。

認定病院は、

より良い病院作りを目指して成長し続ける病院です。

病院機能評価の審査の結果、一定の水準を満たしているとして認められた病院が「認定病院」です。すなわち認定病院は、地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院であると言えます。すでに全国の病院の約3割が認定されています。

病院機能評価更新が無事に出来ました。受審に向けて取り組んでいただきました皆さんにお礼を申し上げます。自分たちが日ごろ行っていることを見直すいい機会になったと思います。

ただ今回の合格で終了ではないこと、これがスタートであることを認識してください。今回プレゼンテーションした内容を維持していくこと、そしてまだ不十分な点を改善していくことが大切であると思っています。

前回、前々回に比べて合格基準のハードルが低く感じました。受審の目的は、「合格」ではなく、『質の向上』です。受審前に慌てるのではなく、計画性を持って準備を進め、『S』または『A』評価を目指します。

情報システム係 大鳥 彰則

準備時間が短く必死でしたが、委託業者と一丸となり目標に向かってやれたことは、私達の「和の力」となりました。

栄養管理部 伊勢 美紀

色々な出来事が重なって、機能評価準備が休止していたにも拘わらず、受審決定からは短期集中にて職員の能力が遺憾なく発揮され、一発合格が得られたことを心から嬉しく思いました。

準備委員長として皆さんに感謝申し上げます。

副企業長小児科部長 師井 敏裕

病院や看護部門にとっての受審の意義は、受審という機会を通じて現状を把握して課題を明確にすることから始まりました。

全職員が真剣に取り組むその努力の成果を訪問診査時に確認され評価していただきました。

今後も「患者さんに選ばれる病院づくり」のサイクルを回し続けていきましょう。

看護部長 平 恵美

感染対策委員会からは院内感染対策に関する多くの活動を報告し、サーベイヤーの方から激励の言葉をいただきました。

感染対策委員会感染管理認定看護師 万江 哲子



お知らせ

当企業団では除草剪定等の委託業務や書籍の販売・日用品の販売等の取引業者について随時募集しております。

病院ホームページの「⇒工事関係・入札等」の中の「競争入札（見積）参加資格者申請の更新と新規募集について」をご参照ください。

※詳しくは、球磨郡公立多良木病院 企画財務課管財係までお尋ね下さい。

電話 0966-42-2560

HP <http://www.taragihp.jp/>

平成 27 年度 給食材料取引参加者登録申請について

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの期間、球磨郡公立多良木病院企業団が業務委託契約する食事サービス提供者との給食材料取引に関する参加者登録申請を希望される方は、書類を提出して下さい。

(1) 定期受付 平成27年1月19日から平成27年2月6日まで（閉院日を除く）

* 更新申請の場合も、必ずこの期間に申請して下さい。

(2) 随時受付 定期受付以外の期間（閉院日を除く）

(3) 受付時間 9:00から16:00まで

(4) 受付場所 球磨郡公立多良木病院 栄養管理室

(5) 有効期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

* 随時受付の場合も、有効期限は平成28年3月31日までとなります。

* 詳しくは、球磨郡公立多良木病院 栄養管理室へお尋ね下さい。

TEL : 0966-42-2560 （内線805）

FAX : 0966-42-6788

E-mail : info@taragihp.jp



採用試験のお知らせ

1 試験職種及び採用予定

薬剤師	大卒程度 1名程度 昭和44年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者で、 国家試験免許取得者及び取得見込者
保健師	大卒程度 1名程度 昭和44年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者で、 国家試験免許取得者及び取得見込者
理学療法士	短大卒程度 2名程度 昭和44年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者で、 国家試験免許取得者及び取得見込者

2 受付手続き

・受付期間

平成26年12月18日(木)から平成27年1月28日(水)まで【必着】
(土曜日、日曜日を除く) 受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。

・試験の日時及び場所

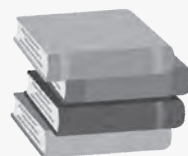
第一次試験 平成27年2月8日(日) 午前8時30分 球磨郡公立多良木病院

第二次試験 平成27年2月下旬の予定 別途一次合格者に通知する。

* 詳しくは、球磨郡公立多良木病院 総務課までお尋ね下さい。

電話 0966-42-2560

所在地 〒868-0598 球磨郡多良木町大字多良木4210番地



私たちは「地域と共に!」をスローガンとし、
地域医療の充実に向けて取り組んで参ります。
どしどしご応募下さい。

病院の力

POWER OF HOSPITAL

看護師

豊永 智恵



平成 26 年 4 月より 3 階病棟で看護師として勤務しています。

昨年 3 月まで国立病院機構熊本医療センターで 5 年間勤務してきました。

急性期病院で日々忙しい中、短期間で回復する患者様をみてこれたことが何よりのやりがいでした。

多良木町出身で、いつか地元に戻り働きたいという気持ちをずっと持っていました。

今は地元の方と球磨弁で会話でき楽しく勤務しています。

これからも心身に寄り添った看護が提供できるよう努力していきたいと思います。

行事予定

期 1月15日～
間 2月14日
1月15日現在

- 1月16日(金) 臨時議会
- 1月21日(水) 人吉准看護学院実習オリエンテーション
- 1月23日(金) 例月監査
- 1月28日(水) 市町村衛生担当者会議
- 2月 3日(火) 実習生合同カンファレンス

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様にとって、昨年はどんな年だったでしょう？今年心新たに目標を立てられた方もいらっしゃると思います。皆様にとって実りある素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。年末年始にかけて何かと暴飲暴食になりがちですが、適度な運動を心掛け、心も体もリフレッシュしましょう。

楽しかったクリスマス会

実行委員長 落合 智

去る 12 月 18 日木曜日に、毎年恒例の「シルバーエイト クリスマス会」を行いました。

今年は、ゴンちゃん・チーちゃんペアの司会により開会し、にしき工芸社の小川様によるハーモニカ演奏で幕を開けました。

クリスマスにちなんで「きよしこの夜」に始まり、昭和歌謡や学校唱歌など数多くのレパートリーの中から、選りすぐりの曲を披露していただき、入所の方々も歌詞を口ずさんでおられました。

アレグレのコーラスも、毎年趣向を変えてこられ、今年はキャンドルを手にとられての入場から、独唱～コーラスへと、年々実力が上がっておられるのを実感させられるステージでした。ただし照明のトラブルがあり（水銀灯の問題）迷惑をお掛けしてしまいました。

最後にはスタッフ有志による「天地真理とスクールメイツ」コーラス「ビリーブ」「妖怪体操第一」を立て続けに披露。スタッフの子供たちをも巻き込んで、大盛り上がるのステージとなりました。

あらためて「スタッフが楽しめば利用者も楽しくなる」を実感したステージでした。



来年以降も入所者、スタッフとも楽しめるクリスマス会を開催できるよう、日々精進したいと思います。



各種ボランティア募集中！

お問い合わせ先
球磨郡公立多良木病院 企画財務課まで
TEL 42-2560



E-mail →